

五 所 川 原 市
第 2 期
特 定 健 康 診 査 等 実 施 計 画

《計 画 期 間 : 平 成 2 5 年 度 ~ 2 9 年 度 》



平成 2 5 年 3 月

青森県五所川原市

<目次>

第1章 計画の趣旨

- 1 計画の背景及び目的 1
- 2 計画の性格と役割 1
- 3 計画期間 1

第2章 現状と第1期計画に基づく評価および第2期計画の課題

- 1 人口動態 2
- 2 高齢者の状況 4
- 3 特定健康診査・特定保健指導の実施結果と評価 5
- 4 国民健康保険被保険者の状況 1 2
- 5 第2期計画の課題 1 6

第3章 特定健康診査等の実施

- 1 基本的な考え方 1 6
- 2 達成しようとする目標 1 6
- 3 特定健康診査等の実施 1 7
- 4 実施体制と費用の積算 2 2

第4章 目標実現のための施策の実施

- 1 肥満予防のための知識の普及・啓発 2 2
- 2 受診勧奨の推進 2 2
- 3 がん検診等との連携について 2 3
- 4 保険者としての役割 2 3

第5章 特定健康診査等の結果の通知と保存

- 1 特定健康診査等のデータについて 2 3
- 2 特定健康診査等の結果の報告 2 4

第6章 特定健康診査等実施計画の評価、見直し及び公表

- 1 特定健康診査等実施計画の公表 2 4
- 2 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し 2 4

参考資料

- 各種データ 2 6

第1章 計画の趣旨

1 計画の背景及び目的

わが国は国民皆保険制度のもと、高い保健医療水準を誇り世界最長の平均寿命を達成してきました。しかしながら、急速な少子高齢化や医療技術の進歩により医療制度は大きな環境変化に直面しており、国民健康保険制度を将来にわたり持続可能なものとするために、その構造改革が急務となっています。

このような中、国民誰しもの願いである健康と長寿を確保しつつ、医療費の伸びの抑制にも資することから、平成18年6月の医療制度改革関連法の改正により、生活習慣病を中心とした疾病予防を重視することとし、また、医療保険者による健診及び保健指導の充実を図る観点から、高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号。以下「法」という。）に基づいて、保険者は、被保険者に対し、糖尿病等の生活習慣病に関する健康診査（以下「特定健康診査」という。）及び特定健康診査の結果により健康の保持に努める必要がある者に対する保健指導（以下「特定保健指導」という。）を実施することが義務づけられました。

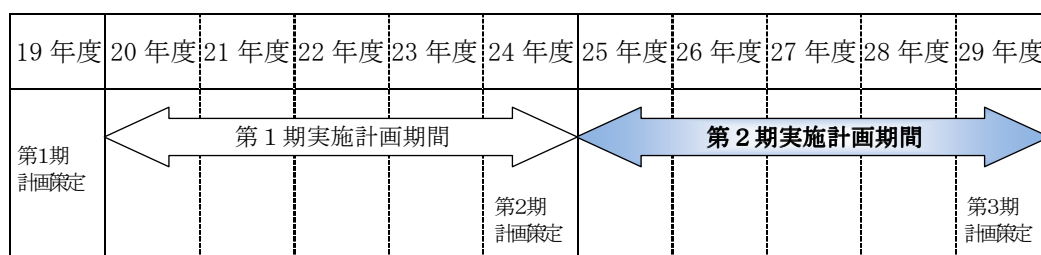
この計画は、国民健康保険者として、「五所川原市健康増進計画」と整合性を保ちながら、本市国民健康保険被保険者に関して法第18条第1項に規定する特定健康診査等基本指針に基づき、特定健康診査及び特定保健指導（以下「特定健康診査等」という。）の実施方法及びその成果に関する基本的な事項を定めるため策定した第1期実施計画（平成20年度から5年間）が平成24年度で終了することから、第1期の特定健康診査及び特定保健指導の実施結果等を踏まえた「五所川原市第2期特定健康診査等実施計画」を策定するものです。

2 計画の性格と役割

五所川原市特定健康診査等実施計画は、法第19条に基づき策定するもので、青森県医療費適正化計画と整合性を保ちながら、本市国民健康保険被保険者のうち40歳から74歳までの方を対象に特定健康診査等を実施することにより、健康で長寿であることの実現に資するものです。

3 計画期間

この計画は、特定健康診査等基本指針に基づき5年毎に5年を一期として策定するものであり、第2期計画期間を平成25年度から平成29年度までの5年間とします。



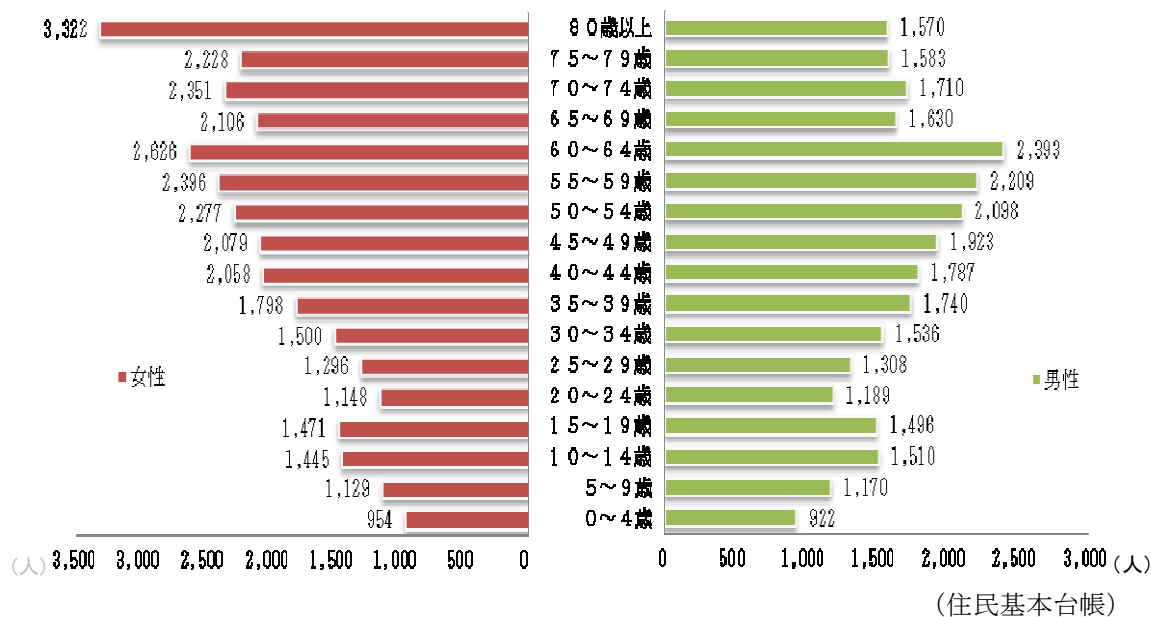
第2章 現状と第1期計画に基づく評価および第2期計画の課題

1 人口動態

(1) 人口構成

当市の人口は、平成24年3月31日現在の住民基本台帳による集計では、59,958人で、男性が27,774人、女性が32,184人となっております。

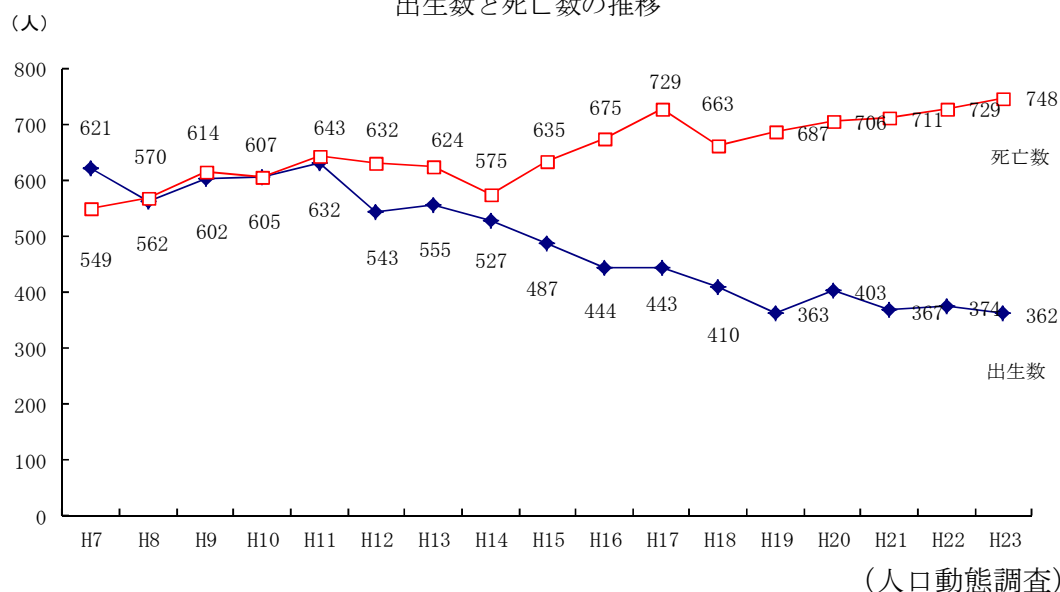
人口構成（平成24年年3月31日現在）



(2) 出生と死亡

当市の近年の出生数は減少傾向にあり、死亡数は増加傾向にあります。平成8年以降は死亡数が出生数を上回っています。

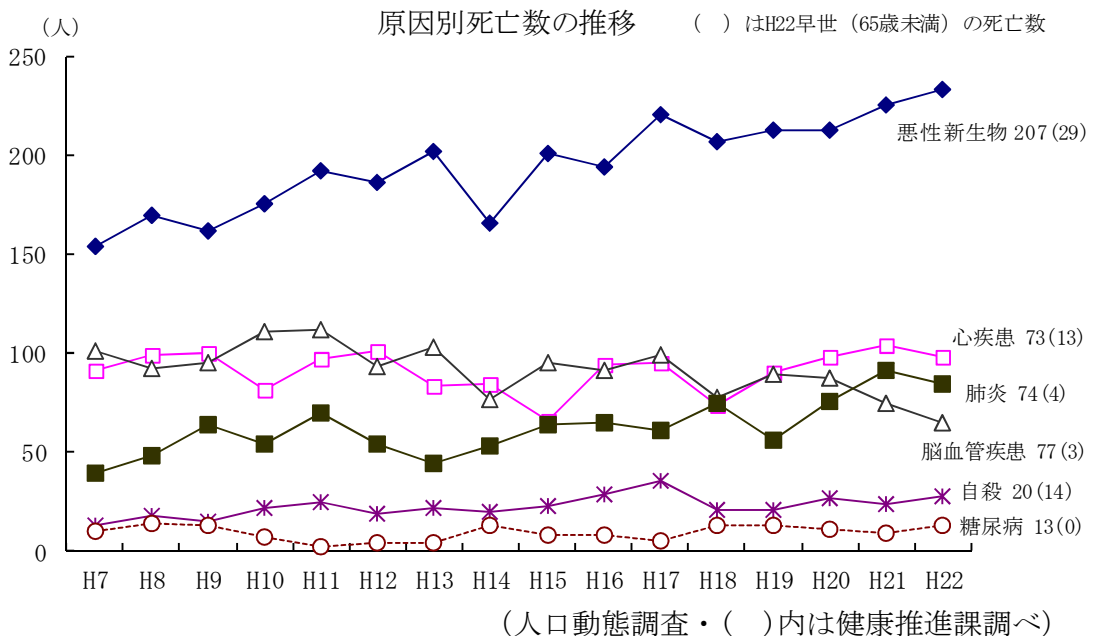
出生数と死亡数の推移



(3) 原因別死亡数

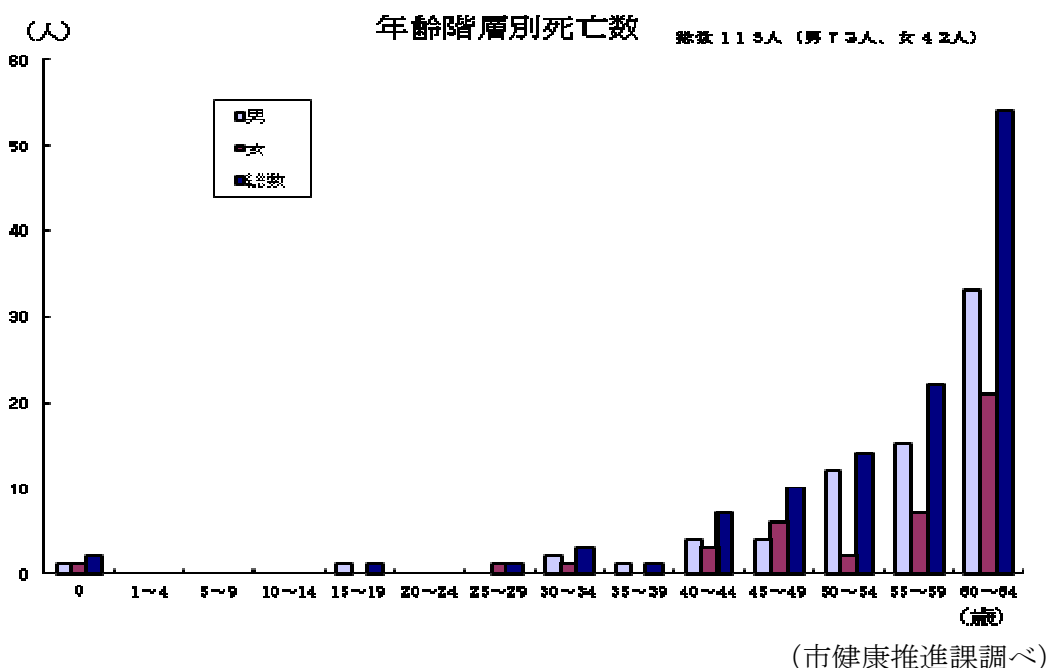
死亡数を原因別にみると、悪性新生物による死亡が最も多く、次いで、心疾患、肺炎の順となっています。

平成22年には、前年に比べ悪性新生物と自殺および糖尿病による死亡が増加していますが、他は減少しています。



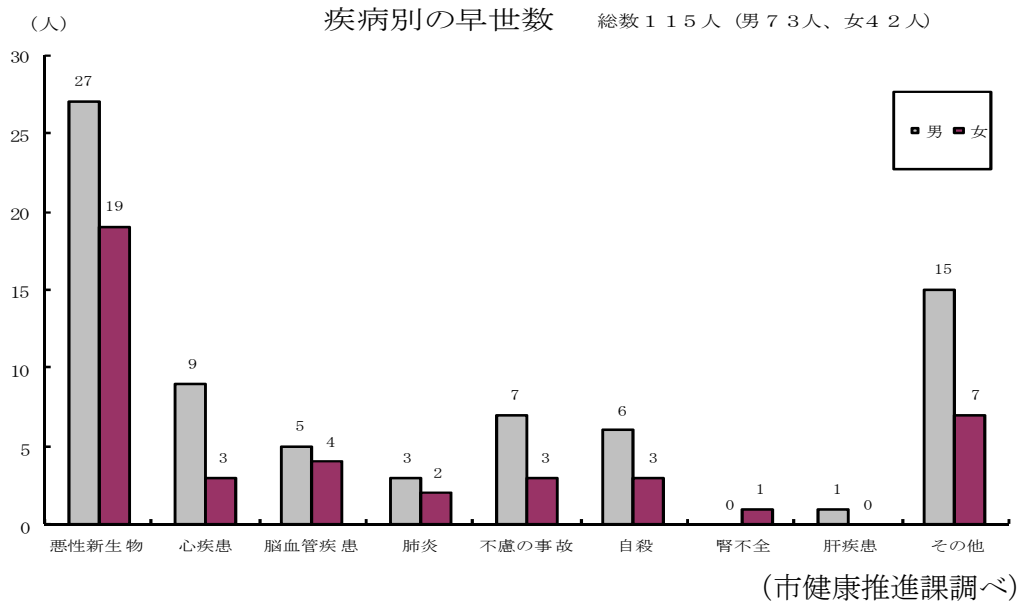
(4) 早世の年齢階層別死亡状況

64歳までの方について5歳毎の年齢階層別に平成23年における死亡状況をみると、男性は40歳から増加しており、女性は60歳から64歳までの死亡数が多くなっています。



(5) 早世の原因別死亡状況

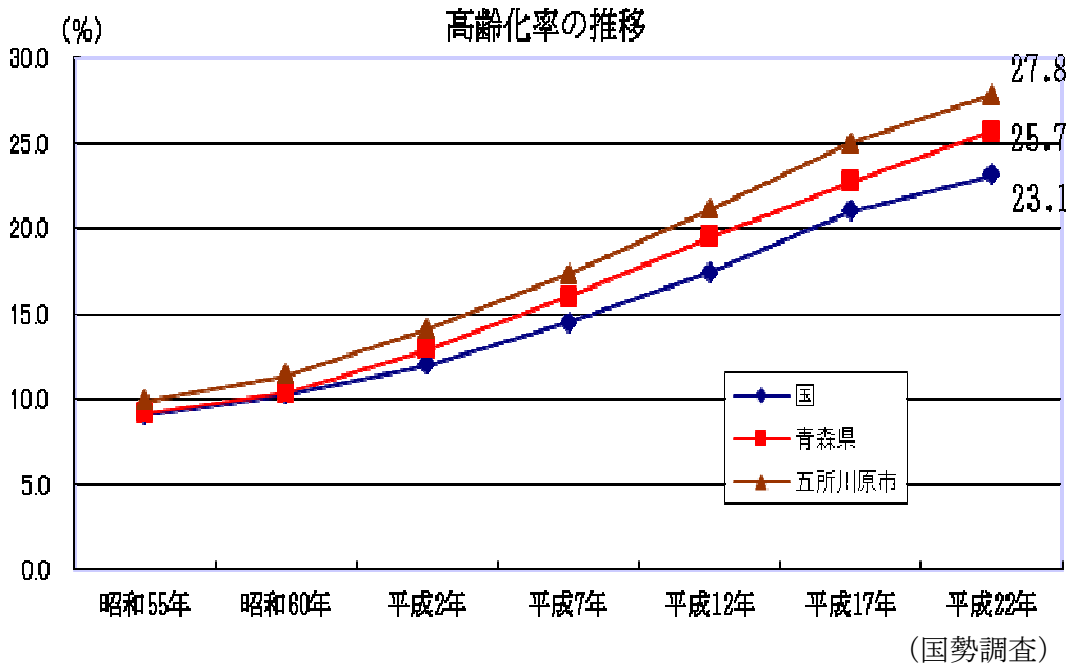
平成23年における早世の死亡原因としては、悪性新生物が最も多く、その他を除くと、男性の場合は心疾患や不慮の事故、自殺が多くなっています。



2 高齢者の状況

(1) 高齢化率の推移

当市の高齢化率は、国や青森県とほぼ同様に増加していますが、高齢化率は、国及び青森県の平均を上回っています。



※「高齢化率」とは、人口に占める65歳以上の方の人口割合で、その割合が14%以上の状況になった社会を「高齢社会」という。

3 特定健康診査・特定保健指導等の実施結果と評価

(1) 特定健康診査の実施状況と評価

当市における特定健康診査の実施状況は、平成23年度において受診対象者数15,354人に対して、受診した方は3,556人で受診率23.2%と低い水準となっており、第1期実施計画期間での各年度目標値を達成できませんでした。しかし、受診率の推移を見ますと年々増加傾向にあります。

中でも、平成23年度においては、個別健診での受診者が546人と前年度84人に対して6.5倍の伸びとなっております。これは未受診者全員への受診券の発送と、市建設業協会を通じ健診受診依頼および健診結果の受領に取り組んだ結果と思われる。

また、平成24年度には、これらに加え市保健協力員による健診申込書の毎戸配布も実施しており、更なる受診率向上が期待できます。

特定健康診査の受診率（法定報告）

区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
第1期受診率目標値		40%	50%	55%	60%	65%
実績値	対象者数	16,680人	16,408人	15,654人	15,354人	
	受診者数	3,094人	3,111人	3,058人	3,556人	
	受診率	18.5%	19.0%	19.5%	23.2%	

※基準日の違いにより、下表の数値と一致しない。

受診可能医療機関および受診者数

区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
受診可能医療機関	集団健診	1機関	1機関	1機関	1機関	1機関
	個別健診	7機関	8機関	9機関	10機関	11機関
受診者数	集団健診	3,047人	3,087人	3,028人	3,066人	
	個別健診	92人	80人	84人	546人	
	計	3,139人	3,167人	3,112人	3,612人	

※年度途中の加入・脱退者も含む。

受診率向上に向けた取組み

区 分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
未受診者へのアンケート調査			→		
電話による受診勧奨			→		
健診項目の追加 (詳細な健診項目を全員受診可能とする)		→			
検査項目の追加 (クレアチニン)			→ 集団健診	→ 個別健診	→
受診券の郵送				→	→
市建設業協会を通じ健診受診依頼				→	→
健診結果(事業主健診、個人健診)の受領				→	→
保健協力員による健診申込書毎戸訪問					→

(2) 特定保健指導の実施状況と評価

当市における特定保健指導の実施状況は、平成23年度において実施対象者数499人に対して、実施した方は213人で実施率42.7%と高い水準となっており、第1期実施計画期間での各年度において実施率目標値をほぼ上回る数値を達成しています。

これは、特定保健指導の取組みにおいて、対象者に対して業務委託によるグループ支援、その後担当者による個別支援での、面接および電話やメールでのサポートなど、きめ細やかな対応を実施したことによるものと推察されます。

また、担当者の専門職研修受講による技術力向上で、更なる実施率向上のための、より効果的な体制づくりに期待できます。







特定保健指導の実施率

区 分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
第1期実施目標値	25%	30%	35%	40%	45%
実績値 (法定報告)	対象者数	450人	434人	392人	499人
	実施者数	108人	188人	183人	213人
	実施率	24.0%	43.3%	46.7%	42.7%
	終了者数	102人	171人	166人	201人
	終了率	22.7%	39.4%	42.3%	40.3%

特定保健指導実施者の動機付け支援者数および積極的支援者数

区 分		20 年度	21 年度	22 年度	23 年度
動機付け支援	対象者数	304 人	287 人	262 人	333 人
	実施者数	83 人	151 人	140 人	167 人
	終了者数	82 人	147 人	138 人	166 人
積極的支援	対象者数	146 人	147 人	130 人	166 人
	実施者数	25 人	37 人	43 人	46 人
	終了者数	20 人	24 人	28 人	35 人

実施率向上に向けた取組み

区 分	1 年目 (20 年度)	2 年目 (21 年度)	3 年目 (22 年度)
業務委託	積極的支援(一部委託) ・グループ支援 (初回面接・中間評価) 生活状況調査	  業務内容検討会(2回)	動機付け支援(一部委託) ・個別支援(初回面接)  (4回) 専門職研修(特定保健指導チーム8名受講)
担当者	業務担当 地区担当		担当制(個別支援) 特定保健指導チーム(8名)
ターゲット 年齢	なし	なし	40 歳、50 歳代男性
支援プログラム	全年齢共通		メールサポート中心 コース(40、50 歳代男性) 電話サポート中心 コース(40、50 歳代男性) 個別支援中心コース
支援基準	なし	なし	保健指導マニュアル
健診結果説明会	なし	健診結果説明会	
健康づくり コース	なし	対象：特定保健指導対象者	対象：40 歳以上の市民

(3) 内臓脂肪症候群該当者及び予備群の減少率の実施状況と評価

内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）に関する減少率目標値10%への評価数値は、平成24年度の特定健診が終了し健診結果が確定する平成25年度に算出される予定です。

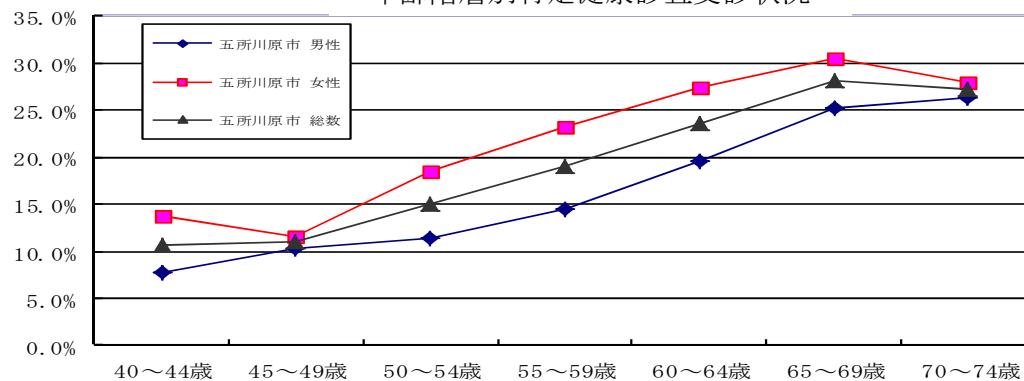
該当者及び予備群の減少率

区 分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
第1期減少率目標値	基準値	—	—	—	10%

(4) 特定健康診査の年齢階層別受診状況

5歳毎の年齢階層別に特定健康診査受診状況をみると、男性・女性ともに65歳から69歳までが最も高く、40歳から49歳までが受診率が極端に低くなっています。

年齢階層別特定健康診査受診状況



(平成23年度特定健康診査結果)

(5) 特定健康診査における有所見者割合

平成23年度の特定健康診査において、有所見項目として高い項目は、LDLコレステロールが最も高く、全受診者中でも半数を超えています。特に、特定保健指導該当者では、その割合がさらに高くなっています。次いで収縮期血圧、HbA1cが高くなっています。

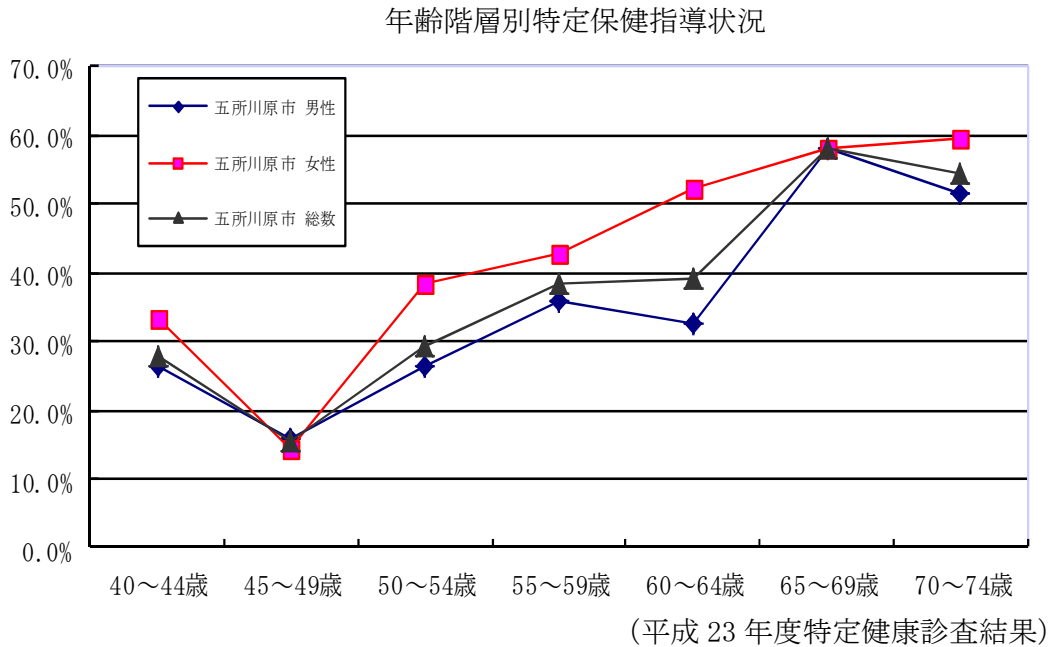
特定健康診査における有所見者割合 (平成23年度)

区分	腹囲	BMI	収縮期血圧	拡張期血圧	空腹時血糖	HbA1c	中性脂肪	LDLコレステロール	血清クレアチニン	e-GFR
	85以上	25以上	130以上	85以上	100以上	5.2以上	150以上	120以上	1.3以上	60未満
全受診者	33.2%	29.40%	41.0%	21.2%	35.4%	35.9%	18.9%	54.0%	0.9%	10.0%
男	48.5%	34.30%	45.5%	27.0%	45.6%	38.9%	26.2%	49.6%	1.5%	12.2%
女	17.8%	24.50%	36.4%	15.3%	25.1%	32.9%	11.6%	58.4%	0.2%	7.8%
積極的支援	90.8%	74.45%	61.6%	48.9%	67.6%	56.6%	56.5%	80.3%	0.0%	6.5%
該当者	97.7%	70.50%	58.3%	49.2%	62.5%	45.5%	64.4%	65.9%	0.0%	7.2%
女	83.8%	78.40%	64.9%	48.6%	72.7%	67.6%	48.6%	94.6%	0.0%	5.7%
動機づけ支	72.3%	73.00%	62.2%	33.1%	41.6%	40.4%	32.5%	71.0%	0.0%	12.7%
援該当者	88.4%	58.30%	59.3%	33.2%	50.8%	43.9%	34.2%	63.8%	0.0%	15.8%
女	56.2%	87.70%	65.1%	32.9%	32.4%	36.8%	30.8%	78.1%	0.0%	9.6%
情報提供	25.0%	22.55%	37.8%	18.4%	33.4%	34.7%	15.0%	50.9%	1.1%	10.0%
該当者	36.1%	26.10%	41.7%	23.4%	42.9%	37.3%	20.5%	45.3%	1.9%	12.2%
女	13.9%	19.00%	33.9%	13.4%	23.8%	32.0%	9.5%	56.4%	0.3%	7.8%

(市健康推進課調べ)

(6) 特定保健指導の年齢階層別実施状況

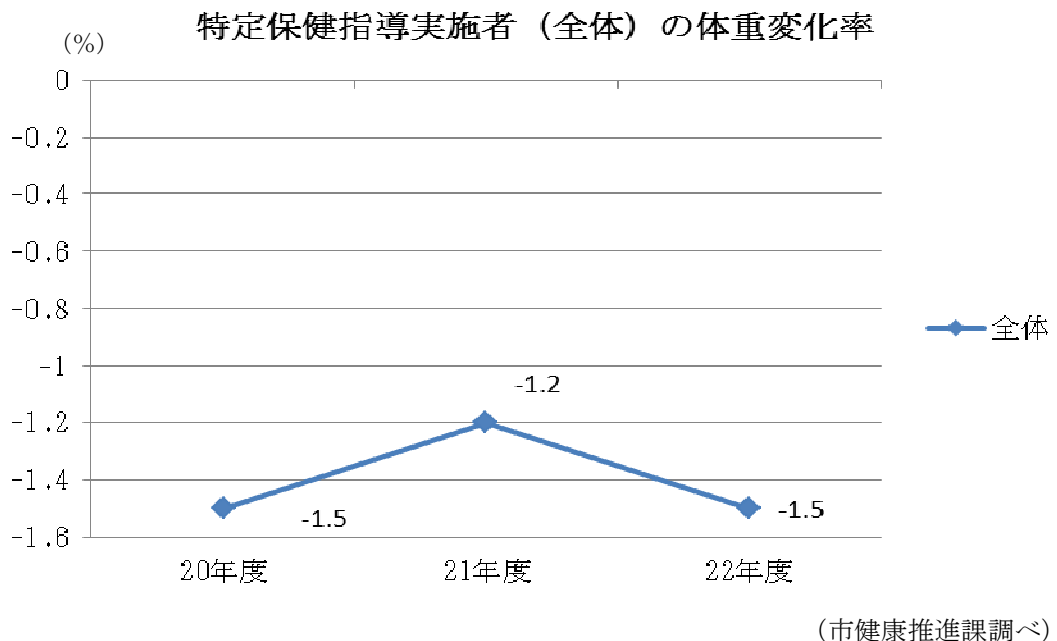
5歳毎の年齢階層別に特定保健指導状況をみると、健診受診状況と同様に男性・女性とも65歳から69歳までが最も高くなっており、特に女性は年齢階層のほぼすべてにおいて、男性を上回っています

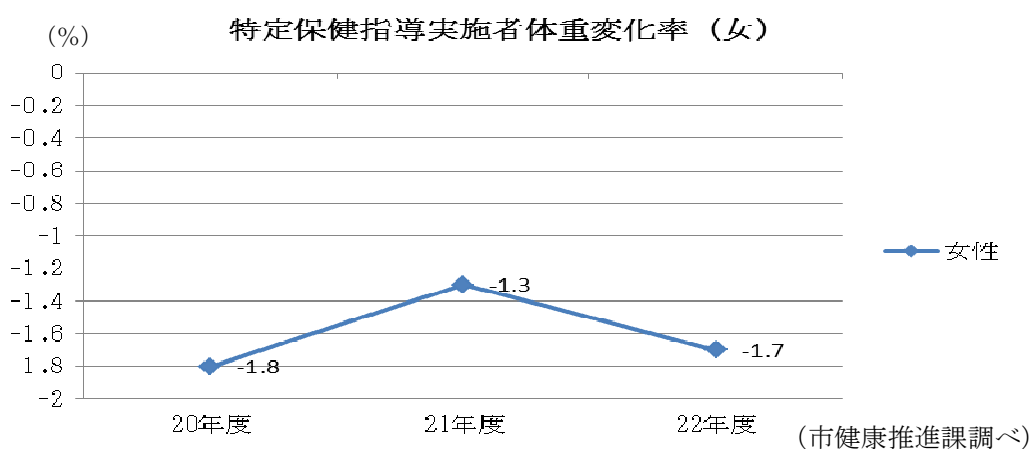
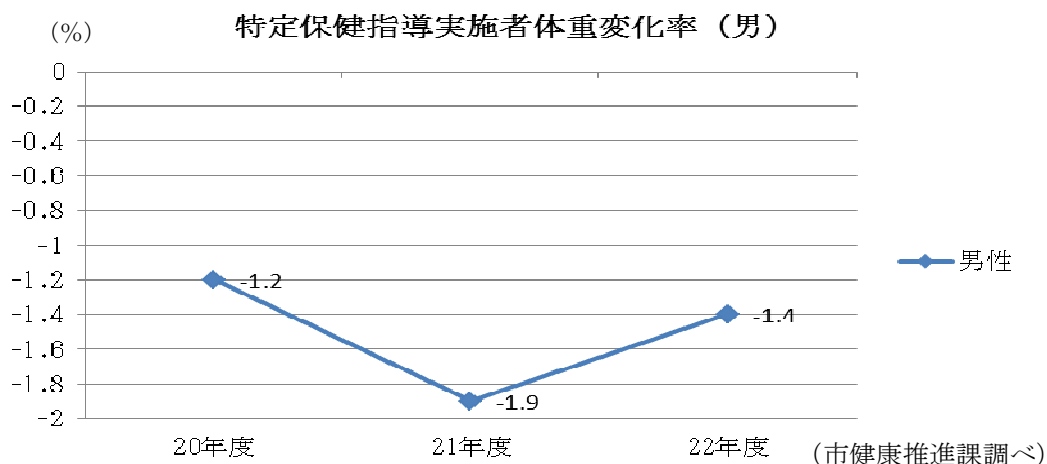


(7) 特定保健指導実施者の体重変化率

特定保健指導実施者の初回時と最終評価時の体重変化率をみると、平成 20 年度から平成 23 年度ともに、-1.2%～-1.5%の幅で改善されています。

男女ともに、いずれの年度においても改善が見られます。

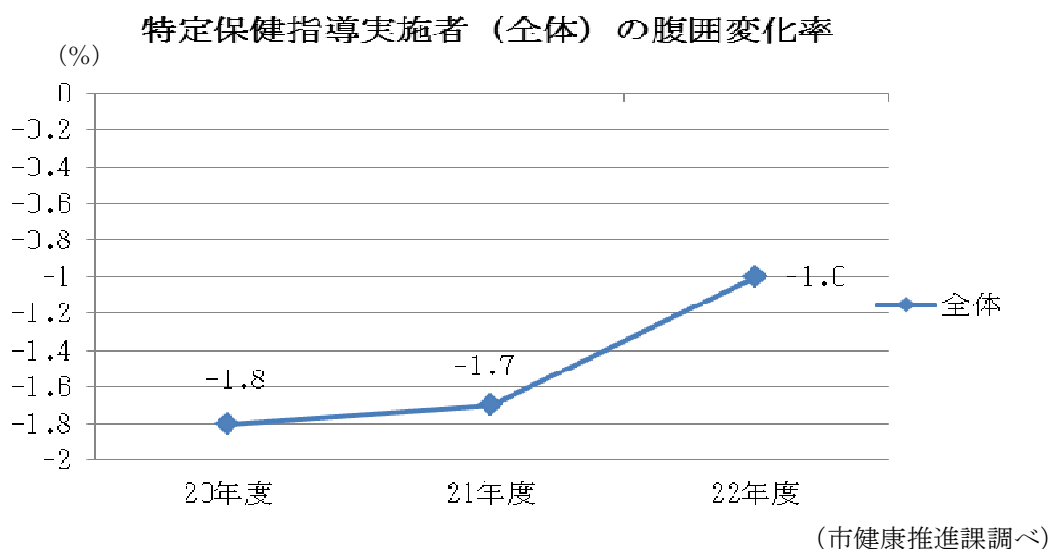


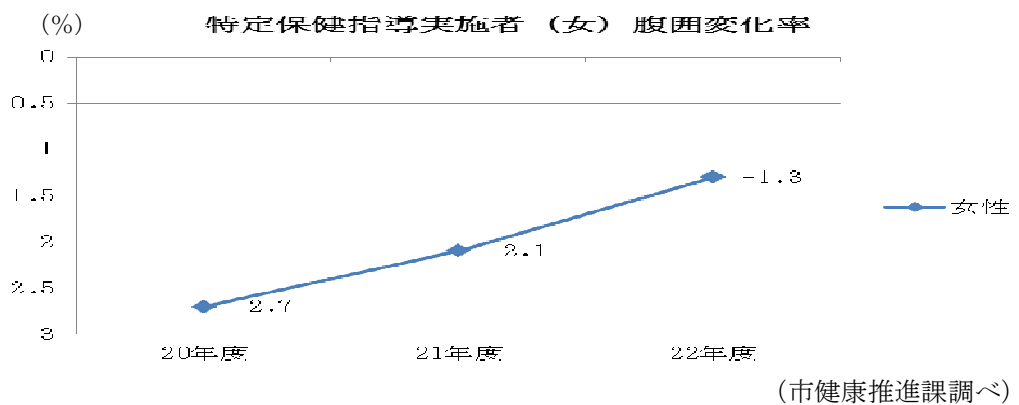
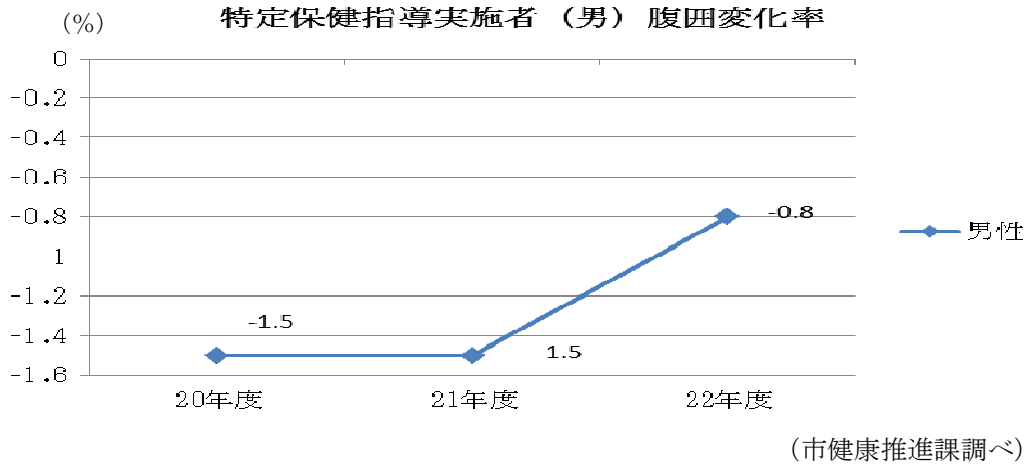


(8) 特定保健指導実施者の腹囲変化率

特定保健指導実施者の初回時と最終評価時の腹囲の変化率をみると平成20年度から平成22年度ともに、 $-1.0\% \sim -1.8\%$ の幅で改善されています。

男女ともに、いずれの年度においても改善が見られます。

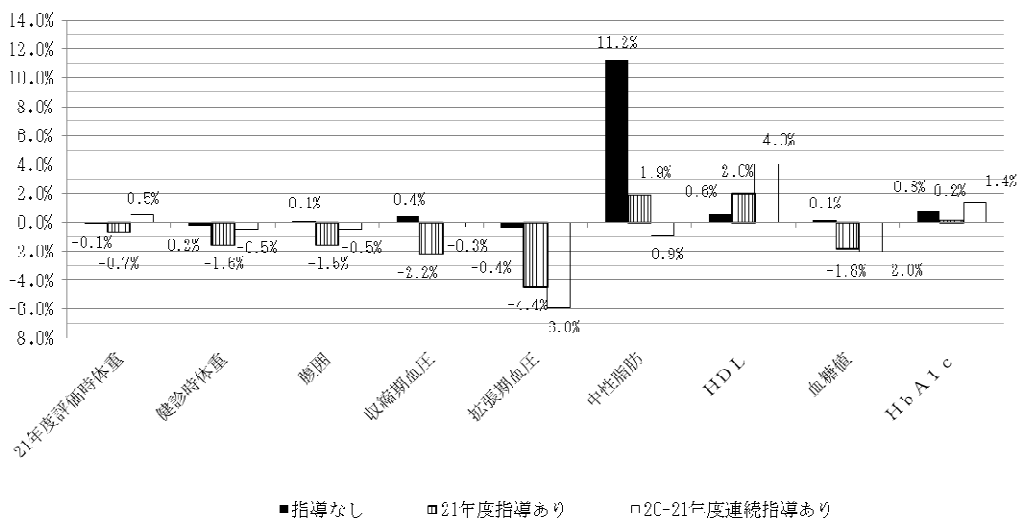




(9) 特定保健指導実施者の健診結果改善率

平成21年度から平成22年度における、特定保健指導実施者の健診結果改善率を見ると、指導なしの方に比べ、指導ありの方の改善率が高く、特に「血圧」「血糖値」「HDL」と、メタボリックシンドロームに該当する項目で、改善が見られました。

特定保健指導実施者の健診結果改善率平均 (H21-H22)

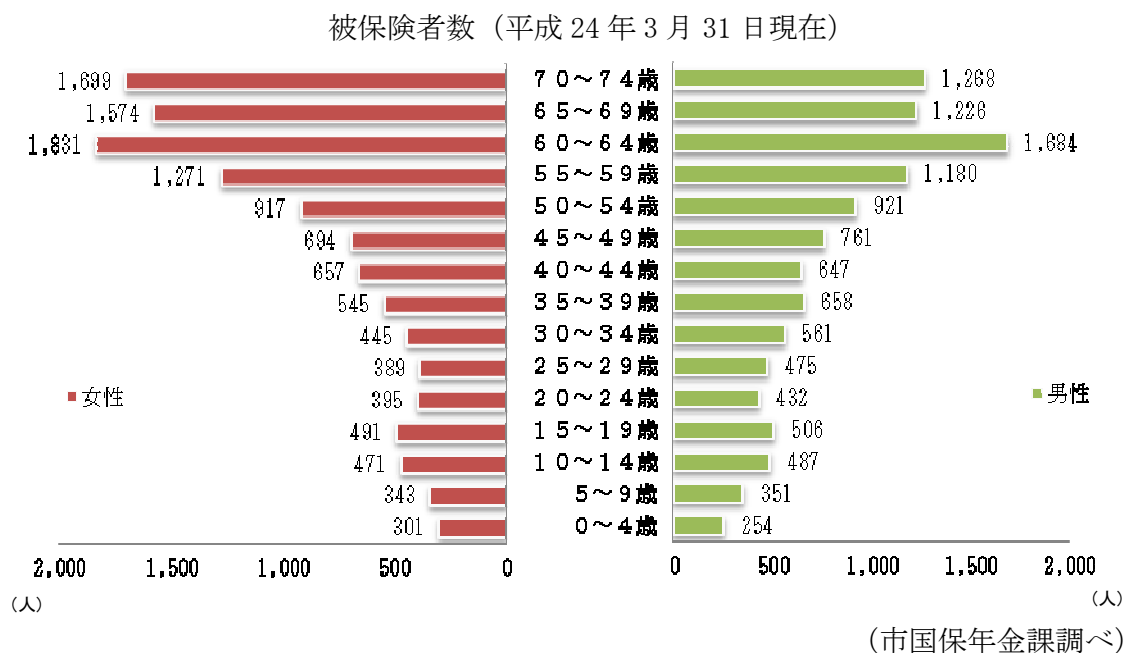


(市健康推進課調べ)

4 国民健康保険被保険者の状況

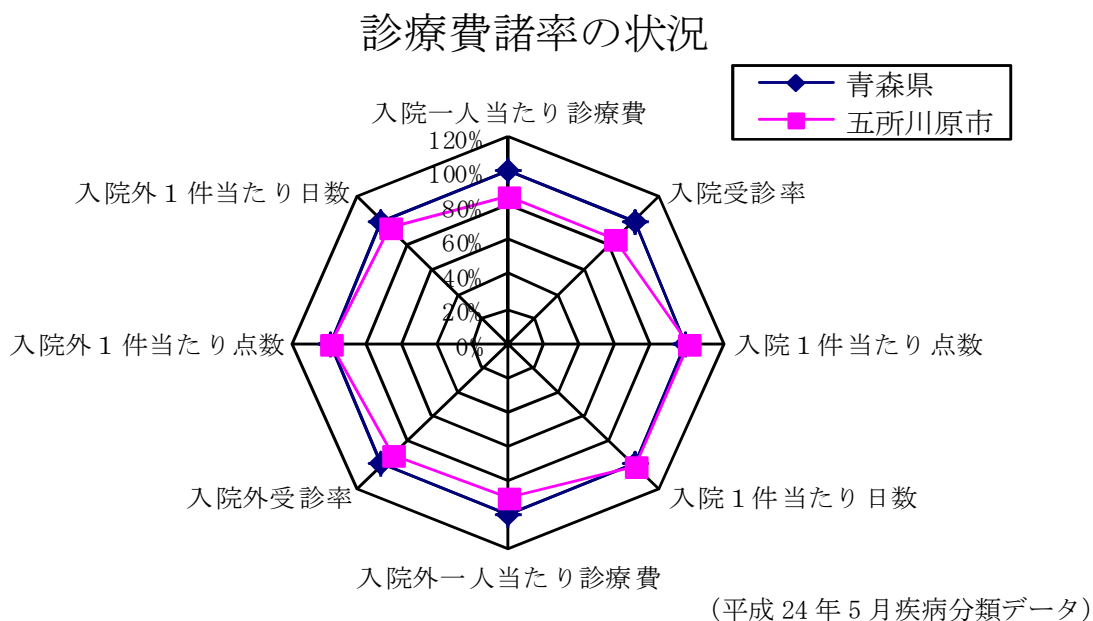
(1) 特定健康診査等の対象者の状況

当市の人口は、59,958人（平成24年3月31日）となっておりますが、そのうち、国民健康保険被保険者数は、23,434人で、39.1%を占めており、その被保険者のうち40歳から74歳までの被保険者数は、16,330人で、被保険者総数の69.7%を占めています。



(2) 診療費諸率の状況

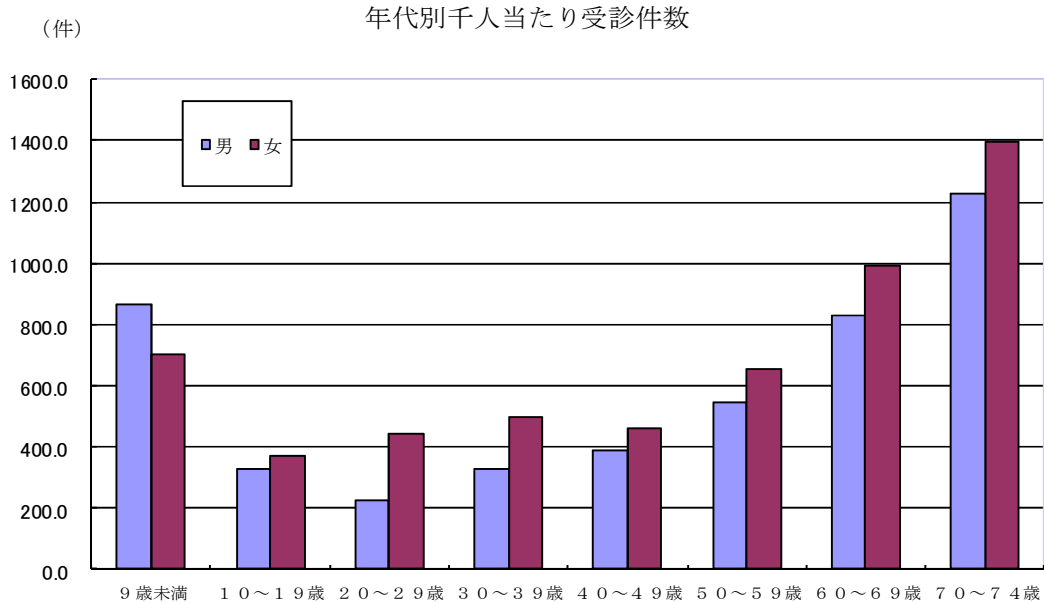
国民健康保険被保険者の平成24年5月疾病分類データから診療費諸率をみると、入院1件当たり点数と日数が、青森県平均よりも若干高くなっていますが、この他は青森県平均より低くなっています。



(3) 年齢階層別、男女別千人当たり受診件数の状況

国民健康保険被保険者について、10歳毎の年齢階層別、男女別に千人当たり受診件数を比較すると、男女とも50歳から受診件数が多くなっています。

また、40歳から74歳までの年齢階層をみると、全ての階層で男性より女性の方が多くなっています。

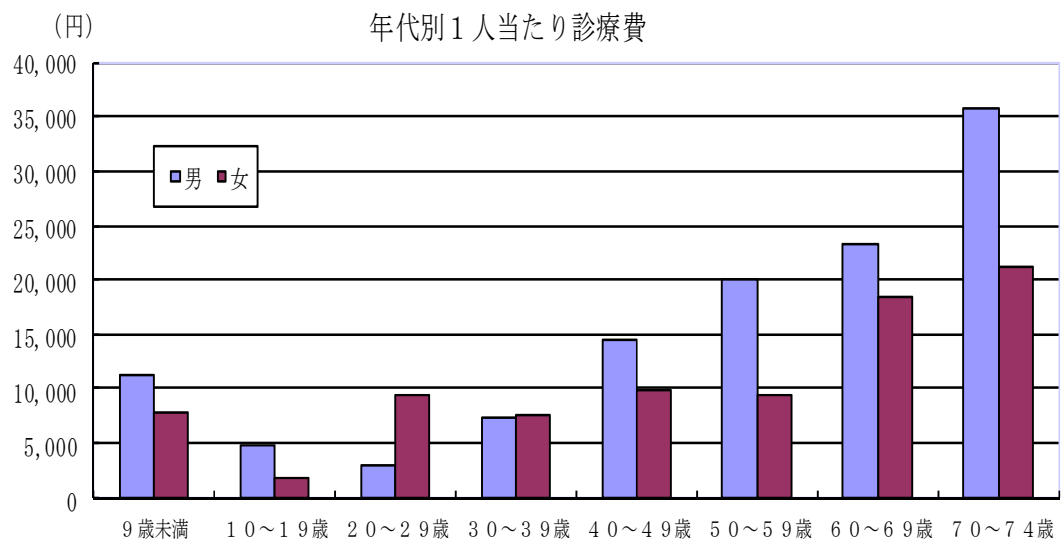


(平成24年5月疾病分類データ)

(4) 年齢階層別、男女別1人当たり診療費の状況

国民健康保険被保険者について、10歳毎の年齢階層別、男女別に1人当たり診療費を比較すると、男女とも60歳から診療費が高くなり、70歳以上が最も高くなっています。

また、40歳以上では、全ての階層で女性より男性の方が高くなっています。

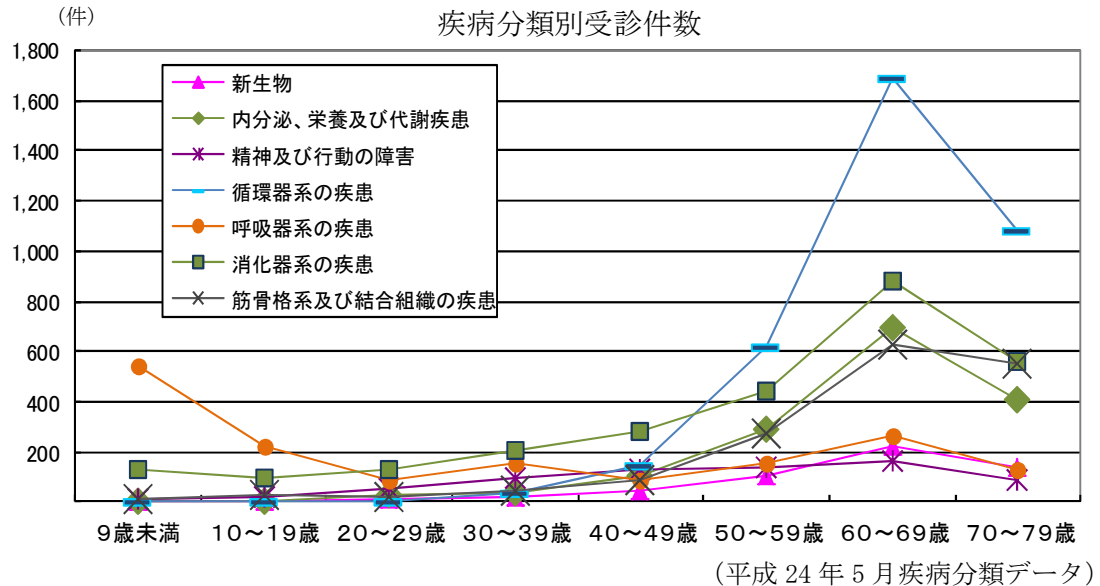


(平成24年5月疾病分類データ)

(5) 疾病分類別受診件数

国民健康保険被保険者の10歳毎の年齢階層別受診件数について、疾病分類別のすべてにおいて、60歳代が最も多く、特に「循環器系の疾患」については急激に増加しています。

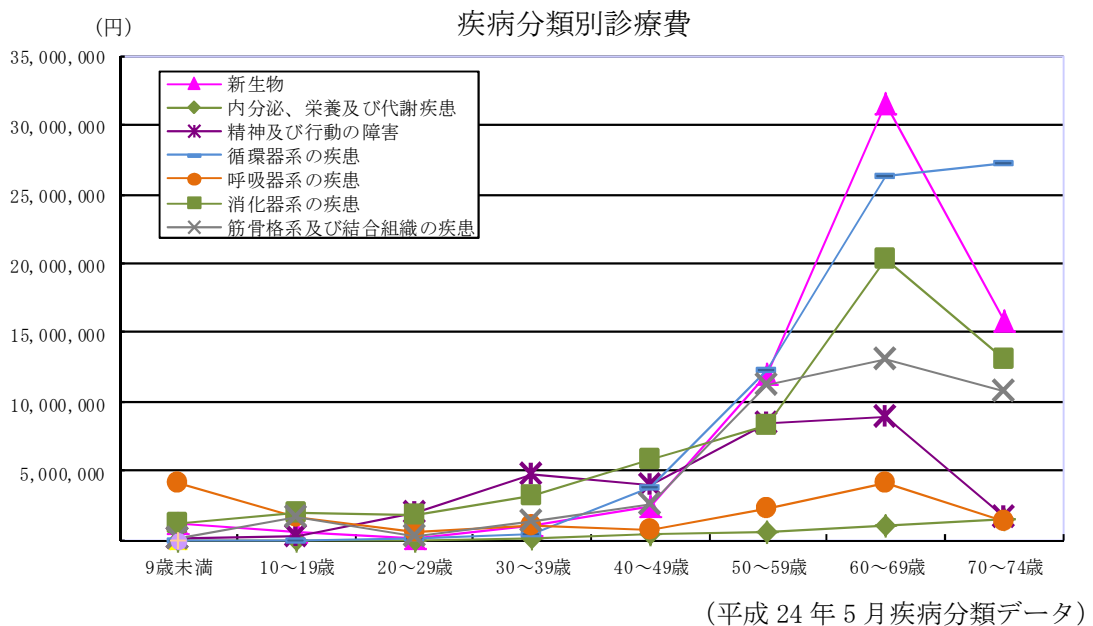
疾病分類別全体での件数の移行は、50歳代から増加し60歳代をピークに減少しています。



(6) 疾病分類別診療費

国民健康保険被保険者の10歳毎の年齢階層別診療費については、受診件数と同様に疾病分類別のすべてにおいて、60歳代が最も診療費が高くなっています。

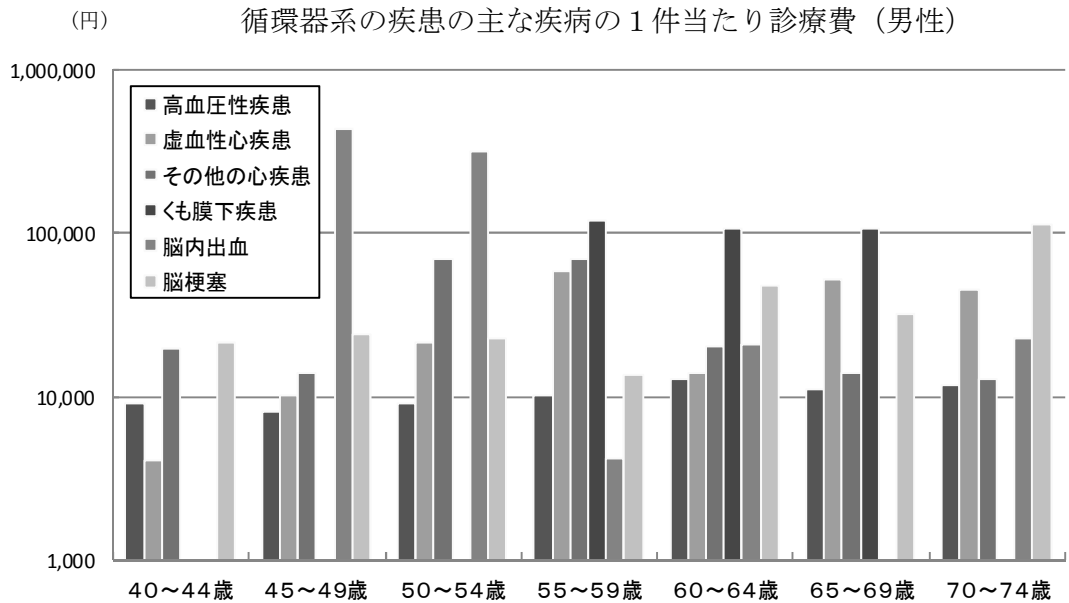
中でも「新生物」については、1件当たりの診療費が高額となっています。



(7) 循環器系の疾患の主な疾病の1件当たり診療費の状況

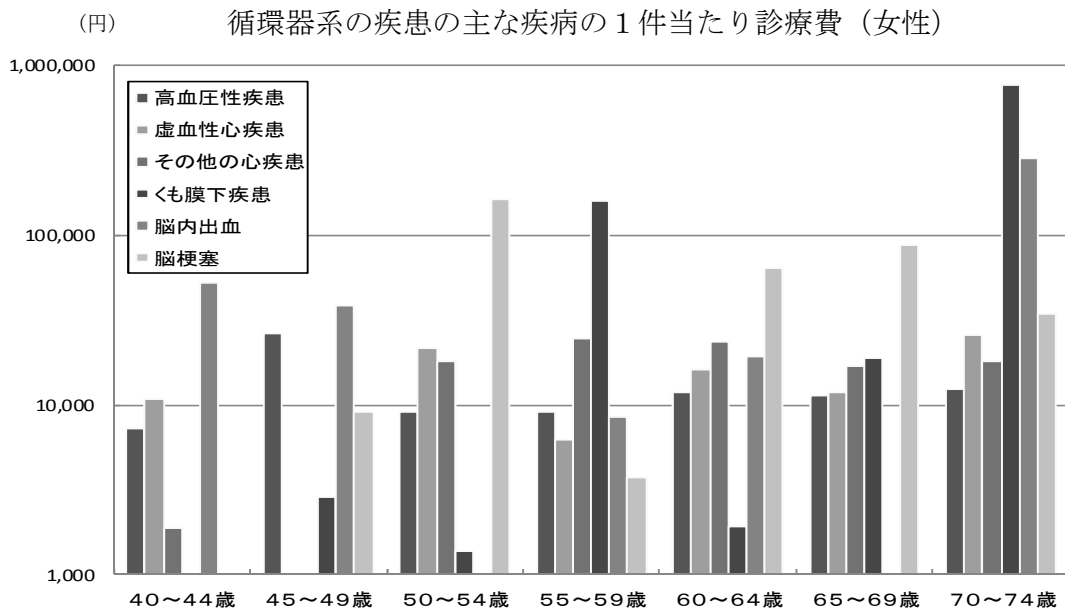
国民健康保険被保険者の40歳以上の方について、5歳毎の年齢階層別に循環器系の疾患の主な疾病1件当たりの診療費をみると、男性は、脳内出血の診療費が高くなっており、45歳から54歳までが最も高くなっています。

また、くも膜下疾患については55歳から69歳までが最も高くなっています。



(平成24年5月疾病分類データ)

同様に、女性についてはくも膜下疾患に係る診療費が、55歳から59歳と70歳から74歳の年代で突出して高くなっています。



(平成24年5月疾病分類データ)

5 第2期計画の課題

(1) 当市の特徴

県平均の特徴と同様の傾向ですが、次のようなことが特徴としてあげられます。

- ① 男性の早世(65歳未満)の死亡が女性より多く、特に50歳以上が多い。
- ② 特定健康診査の受診率が低く、特に40歳から49歳までが受診率が極端に低い。
- ③ 死亡原因として、悪性新生物や脳血管疾患、心疾患が多い。
- ④ 早世の死亡原因で、悪性新生物が最も多い。
- ⑤ 入院1件当たり点数と日数が、県平均よりも高い。
- ⑥ 疾病分類別件数及び診療費では、循環器系の疾患が高い。
- ⑦ 循環器系の疾患の主な疾病の1件当たり診療費の状況では、くも膜下疾患と脳内出血が高い。

(2) 課題

- ① 特定健診受診率の結果から60歳未満の特定健診受診率を高める方策が必要である。
- ② 悪性新生物、脳血管疾患、心疾患等の重要な因子である糖尿病、高血圧症、脂質異常症等の生活習慣病とその重症化である疾病が診療費の上位にきており、また、入院1件当たり点数が県平均よりも高く入院患者の重症化が考えられることから、予備群への指導、重症化予防に重点を置き、早期発見、早期治療に結びつける方策が必要である。
- ③ 全体として50歳以上の受診件数及び診療費が増加しており、その直前の年齢での疾病予防にかかる方策が必要である。
- ④ 早期発見、早期治療に結びつける方策として、特定健康診査の受診率向上に加え特定保健指導の充実を図る必要がある。

第3章 特定健康診査等の実施

1 基本的な考え方

生活習慣病を中心とした疾病予防を重視することとし、次の事項に重点をおき実施します。

- (1) 特定健康診査未受診者の把握と受診勧奨の効果的な実施
- (2) 特定保健指導の効果的な実施と体制整備
- (3) データの蓄積と効果の評価

2 達成しようとする目標

法第19条第2項第2号及び国の特定健康診査等基本指針に基づき、特定健

康診査受診率、特定保健指導実施率並びに内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）該当者及び予備群の減少率に係る計画最終年度の目標数値を設定し、それを達成するための各年度の目標数値を次のとおり設定します。

計画最終年度の目標数値

区 分	第2期計画最終年度 平成29年度目標値	第1期目標値
特定健康診査受診率	60%	65%
特定保健指導実施率	60%	45%
内臓脂肪症候群該当者及び予備群の減少率	25%	10%

計画各年度の目標数値

区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
特定健康 診査	対象者	15,916人	15,493人	15,080人	14,679人	14,289人
	受診者	4,775人	5,426人	6,032人	7,340人	8,573人
	受診率	30%	35%	40%	50%	60%
特定保健 指導	対象者	891人	1,085人	1,161人	1,233人	1,200人
	実施者	401人	543人	639人	740人	720人
	動機付 け支援	335人	453人	534人	618人	601人
	積極的 支援	66人	90人	105人	122人	119人
	実施率	45%	50%	55%	60%	60%

※過去の伸び率等から推計

3 特定健康診査等の実施

(1) 特定健康診査について

①対象者

当市に住所を有する40歳から74歳までの国民健康保険被保険者

②実施項目

生活習慣病等の疾病予防に資するため、次の事項を健診項目として設定します。

ア 基本的な健診の項目

質問項目、身体計測（身長、体重、BMI、腹囲（内臓脂肪面積））、理学的検査（身体診察）、血圧測定、血中脂質検査（中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール）、肝機能検査（AST（GOT）、ALT（GPT）、 γ -GT（ γ -GTP））、血糖検査（空腹時血糖又はHbA1c）、尿検査（尿糖、尿蛋白）

イ 詳細な健診の項目

心電図検査、眼底検査、貧血検査（赤血球数、血色素量（ヘモグロビン値）、ヘマトクリット値）のうち一定の基準の下、医師が必要と判断したものを選択

ウ 追加健診項目

心電図検査、眼底検査、貧血検査（赤血球数、血色素量（ヘモグロビン値）、ヘマトクリット値）、クレアチニンについて、詳細な健診の項目を必要としない者に実施。

③実施場所及び期間

年度毎に決定し、特定健康診査の案内時及び市の広報やホームページで周知を図ります。

④特定健康診査の実施及び案内方法

特定健康診査は日時及び場所を定めて一斉に実施する集団健診と医療機関での個別健診を併用して実施します。

案内は特定健康診査対象者に対し個別に送付し、その申し込みにより受診することとし、個別健診を申し込んだ場合には特定健康診査受診券を送付します。

(2) 特定保健指導について

①実施方法

特定保健指導は、対象となる方の生活を基盤とし、自らの生活習慣における課題に気づき、健康的な行動変容の方向性を自らが導き出し、健康的な生活を維持できるように支援することとし、保健指導の必要性ごとに次のように区分し行います。

ア 情報提供

特定健康診査結果から自らの身体状況を確認するとともに、健康な生活習慣の重要性に対する理解と関心を深め、生活習慣を見直すきっかけとなるよう特定健康診査結果と併せて、個人の生活習慣やその改善に関する基本的な情報提供をします。

<具体的な内容>

特定健康診査結果の送付時、対象者の方に次のような情報提供をします。

- ・特定健康診査結果の見方
- ・メタボリックシンドロームや生活習慣病に関する基本的な情報
- ・健康の保持増進に役立つ情報
- ・身近で活用できる社会資源の情報

イ 動機付け支援

利用者が自ら健康状態を自覚し、生活習慣改善のための自主的な取り組みを積極的に行えるようになることを目的に、保健師・栄養士又は看護師等の面接のもと生活習慣改善に関する行動計画を策定し、その取り組みに関する支援を行い、6ヶ月経過後、計画策定を指導した者が計画の実績評価を行います。

<具体的な内容>

(ア) 初回面接

一人20分以上の個別面接又は1グループ（8名以内）80分以上のグループ面接により、次の支援を行います。

- ・生活習慣と特定健康診査結果の関係の理解や生活習慣の振り返り、メタボリックシンドロームや生活習慣病に関する知識と対象者の方の生活が及ぼす影響及び生活習慣の改善の必要性の説明
- ・生活習慣を改善するメリット及び現在の生活を継続することのデメリットの説明・体重、腹囲の測定方法や栄養、運動等の生活習慣の改善に必要な目安等を具体的に支援
- ・対象者の方の行動目標や評価時期の設定と必要な社会資源等の活用を支援

(イ) 6ヶ月後の評価

個別面接、グループ面接、電話やe-mail等により、身体状況や生活習慣に変化が見られたかについて評価します。

ウ 積極的支援

利用者が自ら健康状態を自覚し、生活習慣改善のための自主的な取り組みを継続的に行えるようになることを目的に、保健師・栄養士又は看護師等の面接のもと生活習慣改善に関する行動計画を策定し、対象者が主体的に取り組むことができるよう継続して支援を行うとともに、計画策定を指導した者が計画の進捗状況及び実績評価を行います。

<具体的な内容>

(ア) 初回面接

一人20分以上の個別面接又は1グループ（8名以内）80分以上のグループ面接により、次の支援を行います。

- ・生活習慣と特定健康診査結果の関係の理解や生活習慣の振り返り、メタボリックシンドロームや生活習慣病に関する知識と対象者の方の生活が及ぼす影響及び生活習慣の改善の必要性の説明
- ・生活習慣を改善するメリット及び現在の生活を継続することのデメリットの説明
- ・体重、腹囲の測定方法や栄養、運動等の生活習慣の改善に必要な目安等を具体的に支援・対象者の方の行動目標や評価時期の設定と必要な社会資源等の活用を支援

(イ) 3ヶ月以上の継続的な支援及び中間評価

初回面接後、3ヶ月以上継続的に個別面接、グループ面接、電話やe-mail等により、次のような支援を行い、3ヶ月経過した時点で取り組んでいる実践と結果についての評価と再アセスメントをし、必要に応じて改めて行動目標や計画の設定を行う。

- ・初回面接以降の生活習慣の状況を確認
- ・栄養、運動等の生活習慣の改善に必要な支援をするとともに必要に応じて行動維持を推奨

(ウ) 6ヶ月後の評価

個別面接、グループ面接、電話やe-mail等により、身体状況や生活習慣に変化が見られたかについて評価します。

②対象者

特定健康診査の結果に基づいて、次の手順で選定します。

〈対象者の選定手順〉

内臓脂肪蓄積に着目してリスクを判定

- (1) 腹囲 男性 85 cm以上 女性 90 cm以上
- (2) 腹囲は上記未満でBMIが2.5以上

- ①血糖 空腹時血糖 100mg/dl 以上又はHbA1cの場合 5.2%以上又は薬剤治療を受けている (質問票より)
- ②脂質 中性脂肪 150 mg/dl 以上又はHDLコレステロール 40 mg/dl 未満又は薬剤治療を受けている (質問票より)
- ③血圧 収縮期血圧 130 mm Hg 以上又は拡張期血圧 85 mm Hg 以上又は薬剤治療を受けている (質問票より)
- ④喫煙 喫煙歴有り (質問票より ①～③に該当する場合にのみカウント)

- | | |
|-----------|--|
| 積極的支援レベル | (1) に該当し、①から④のリスクの2つ以上に該当
(2) に該当し、①から④のリスクの3つ以上に該当 |
| 動機付け支援レベル | (1) に該当し、①から④のリスクの1つに該当
(2) に該当し、①から④のリスクの2つ以下に該当 |
| 情報提供レベル | 上記のレベルに該当しない場合 |

○服薬中の方は特定保健指導の対象としない

○65歳から74歳までの前期高齢者については、積極的支援レベルでも動機付け支援とする

〈選定の際の優先順位の考え方〉

生活習慣病の未然防止のため特に必要と思われる方を優先し対象とします

- 1 年齢が若い対象者
- 2 糖尿病合併症 (人工透析・失明)、脳卒中、心疾患 (心筋梗塞等) の発病リスクが高い方
- 3 健診結果が前年度に比べ悪化している対象者
- 4 前年度の対象者で特定保健指導を利用しなかった方
- 5 生活習慣改善の必要性が高い方

③実施場所及び期間

年度毎に決定し、特定保健指導の案内時及び市の広報やホームページで周知を図ることとします。

(3) 特定健康診査等の委託について

特定健康診査については外部委託とし、特定保健指導については必要に応じ外部委託します。

また、委託基準については、特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準（平成19年厚生労働省令第157号）に定められた基準とします。

4 実施体制と費用の積算

(1) 実施体制について

年度	特定健康診査受診率	特定保健指導実施率	保健師等所要人員
25年度	30%	45%	4名
26年度	35%	50%	5名
27年度	40%	55%	6名
28年度	50%	60%	7名
29年度	60%	60%	8名

(2) 費用の積算

設定した各年度の目標数値を基に、年度毎に積算します。

第4章 目標実現のための施策の実施

1 肥満予防のための知識の普及・啓発

(1) イベントの活用

肥満と栄養、運動の関係を重点的に展示するほか、特定健康診査や特定保健指導の結果等を展示し、肥満予防のための知識の普及・啓発に努めます。

(2) 五所川原市食生活改善推進委員会の活動の活性化

食生活改善推進員等に生活習慣病の研修を行うなどにより、食生活から肥満を予防する気運を高めます。

2 受診勧奨の推進

特定健康診査受診率向上につながるようあらゆる機会を通じて受診勧奨を推進します。

(1) 市の広報やホームページでのお知らせ

(2) 個別郵送での特定健康診査の案内

- (3) 未受診者に対する事業主健診等の他健康診査受診状況の確認
- (4) 被保険者証交付時のお知らせ
- (5) 保健協力員、行政連絡員等への周知・連携

3 がん検診等との連携について

健康増進の観点からがん検診等との連携体制づくりが重要であるため、健康推進課と協力して、特定健康診査と同時に受診できるようにします。

4 保険者としての役割

特定健康診査及び特定保健指導を効果的・効率的に行い、生活習慣病予防対策を実施するとともに、未受診者を把握し受診勧奨を行うことにより疾病の予防や重症化を防止し、医療費適正化及び保険財政安定化を図ります。

第5章 特定健康診査等の結果の通知と保存

1 特定健康診査等のデータについて

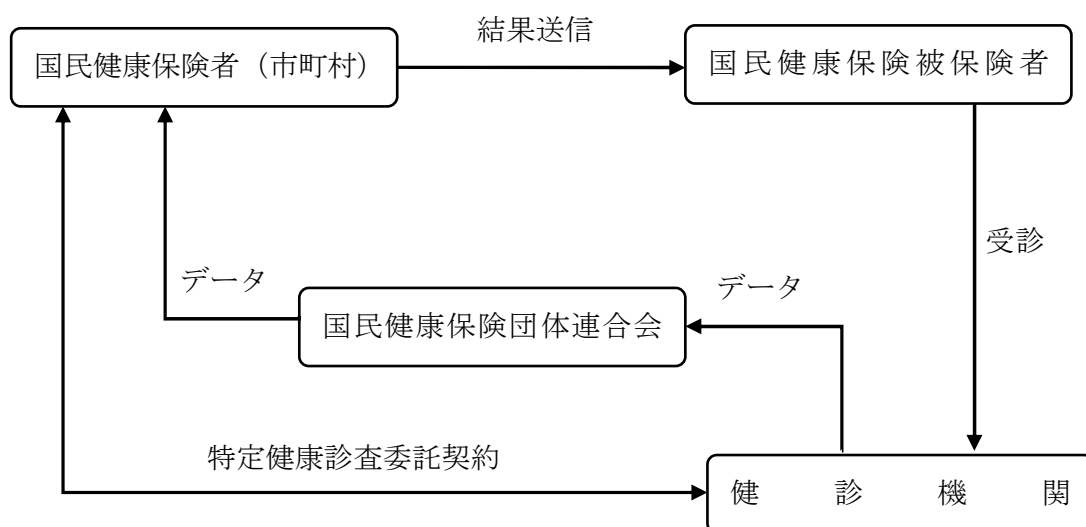
(1) 特定健康診査等の記録の管理及び保存について

特定健康診査等のデータは、管理者を定め、電子的標準形式により（青森県国民健康保険団体連合会に委託し）管理保存することとし、その保存期間は、特定健康診査受診の翌年4月1日から5年間とします。

なお、被保険者が他の保険者の加入者となったときの保存期間は、他の保険者の加入者となった年度の翌年度の末日とします。

また、被保険者が他の保険者の加入者となった場合は、当該保険者の求めに応じ被保険者が提出すべきデータを被保険者に提供することとします。

<健診データの流れ>



(2) 個人情報の保護について

特定健康診査等の実施に当たっては、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）及び五所川原市個人情報保護条例（平成17年五所川原市条例第10号）について周知徹底し、個人情報の漏洩防止に細心の注意を図ります。

ただし、特定健康診査等に従事する職員及び特定健康診査等の委託先（データの管理を含む）については、業務を遂行するための個人情報について知り得ることとし、その情報を他に漏洩することがないように守秘義務を課すこととします。

2 特定健康診査等の結果の報告

(1) 被保険者への通知について

特定健康診査等の結果は、保険者において整理し、受診者及び利用者に通知します。

(2) 結果の公表について

各年度の特定健康診査受診率、特定保健指導実施率及び内臓脂肪症候群該当者及び予備群の減少率等については、翌年度の市の広報やホームページで公表します。

第6章 特定健康診査等実施計画の評価、見直し及び公表

1 特定健康診査等実施計画の公表

国民健康保険被保険者に係る特定健康診査等実施計画を定めたとき、又はこれを変更したときは、速やかに市の広報やホームページで公表します。

2 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し

特定健康診査等実施計画に基づく実施状況については、年1回、評価検討の上必要があれば見直しを行うこととし、検討結果については、国民健康保険運営協議会に報告します。

参 考 资 料

1 人口構成 <1-(1)>

区分	男	女	計
0～4歳	922	954	1,876
5～9歳	1,170	1,129	2,299
10～14歳	1,510	1,445	2,955
15～19歳	1,496	1,471	2,967
20～24歳	1,189	1,148	2,337
25～29歳	1,308	1,296	2,604
30～34歳	1,536	1,500	3,036
35～39歳	1,740	1,798	3,538
40～44歳	1,787	2,058	3,845
45～49歳	1,923	2,079	4,002
50～54歳	2,098	2,277	4,375
55～59歳	2,209	2,396	4,605
60～64歳	2,393	2,626	5,019
65～69歳	1,630	2,106	3,736
70～74歳	1,710	2,351	4,061
計	27,774	32,184	59,958

(平24年3月31日住民基本台帳)

2 出生と死亡<1-(2)>

区分	出生数	死亡数
平成7年	621	549
平成8年	562	570
平成9年	602	614
平成10年	605	607
平成11年	632	643
平成12年	543	632
平成13年	555	624
平成14年	527	575
平成15年	487	635
平成16年	444	675
平成17年	443	729
平成18年	410	663
平成19年	363	687
平成20年	403	706
平成21年	367	711
平成22年	374	729
平成23年	362	748

(人口動態調査)

3 原因別死亡数<1-(3)>

区分	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	自殺	糖尿病
平成7年	154	91	101	39	13	10
平成8年	170	99	92	48	17	14
平成9年	162	100	95	64	15	13
平成10年	175	81	111	54	21	7
平成11年	192	97	112	69	24	2
平成12年	186	101	93	54	18	4
平成13年	202	83	103	44	21	4
平成14年	166	84	76	53	19	13
平成15年	201	66	95	64	22	8
平成16年	194	94	91	65	28	8
平成17年	221	95	99	61	35	5
平成18年	207	73	77	74	20	13
平成19年	213	90	89	56	20	13
平成20年	213	98	87	75	26	11
平成21年	226	104	74	91	23	9
平成22年	233	98	65	84	27	13

(人口動態調査)

4 早世の年代別死亡状況<1-(4)>

区分	男	女	総数
0歳	1	1	2
1～4歳	0	0	0
5～9歳	0	0	0
10～14歳	0	0	0
15～19歳	1	0	1
20～24歳	0	0	0
25～29歳	0	1	1
30～34歳	0	1	3
35～39歳	2	0	1
40～44歳	1	3	7
45～49歳	4	6	10
50～54歳	4	2	14
55～59歳	12	7	22
60～64歳	15	21	54
合計	73	42	115

(市健康推進課調べ)

5 早世の原因別死亡状況<1-(5)>

区分	男	女	合計
悪性新生物	27	19	46
心疾患	9	3	12
脳血管疾患	5	4	9
肺炎	3	2	5
不慮の事故	7	3	10
自殺	6	3	9
腎不全	0	1	1
肝疾患	1	0	1
その他	15	7	22
合計	73	42	115

(市健康推進課調べ)

6 高齢化率の推移<2-(1)>

区分	五所川原市	青森県	国
昭和 55 年	9.9	9.2	9.1
昭和 60 年	11.4	10.4	10.3
平成 2 年	14.1	12.9	12.0
平成 7 年	17.3	16.0	14.5
平成 12 年	21.1	19.5	17.4
平成 17 年	25.0	22.7	21.0
平成 22 年	26.7	25.7	23.1

(国勢調査)

7 年齢階層別特定健康診査受診状況<3-(4)>

区分	男性	女性	総数
40～44 歳	7.8%	13.7%	10.7%
45～49 歳	10.4%	11.6%	11.0%
50～54 歳	11.5%	18.5%	14.9%
55～59 歳	14.5%	23.2%	19.0%
60～64 歳	19.6%	27.3%	23.7%
65～69 歳	25.3%	30.5%	28.2%
70～74 歳	26.3%	27.9%	27.2%
計	17.8%	24.0%	21.1%

(平成 2 3 年度特定健診結果)

9 年齢階層別特定保健指導状況<3-(6)>

区分	男性	女性	総数
40～44 歳	26.3%	33.3%	28.0%
45～49 歳	16.0%	14.3%	15.6%
50～54 歳	26.3%	38.5%	29.4%
55～59 歳	35.7%	42.9%	38.6%
60～64 歳	32.5%	52.4%	39.2%
65～69 歳	58.0%	58.1%	58.1%
70～74 歳	51.5%	59.5%	54.4%
計	38.4%	50.6%	42.7%

(平成 2 3 年度特定健診結果)

8 実施年度別 特定健康診査有所見者の状況 (年度内対象除外者及び 75 歳到達者を含む) <3-(5)>

男女	受診者数	摂取エネルギーの過剰				血管を傷つける				内臓脂肪 症候群以 外の動脈 硬化要因	臓器障害 (※は詳細検査)			
		腹囲 *	中性脂肪	ALT (GTP)	HDL コレス テロール	血糖	HbA1c	収縮期血圧	拡張期血圧		LDL コレス テロール	尿蛋白	(クレアチ ニン)	心電図 ※
20 年度	3,139	888	504	632	133	1,146	1,120	1,310	671	1,794	195	0	126	13
21 年度	3,167	937	455	553	108	1,014	768	1,161	660	1,872	172	0	669	425
22 年度	3,112	846	503	530	88	960	795	1,061	563	1,769	227	15	588	343
23 年度	3,612	1,089	637	702	126	1,177	1,260	1,433	728	1,987	190	23	670	263
男	受診者数	摂取エネルギーの過剰				血管を傷つける				内臓脂肪 症候群以 外の動脈 硬化要因	臓器障害 (※は詳細検査)			
		腹囲 *	中性脂肪	ALT (GTP)	HDL コレス テロール	血糖	HbA1c	収縮期血圧	拡張期血圧		LDL コレス テロール	尿蛋白	(クレアチ ニン)	心電図 ※
20 年度	1,260	554	303	369	92	605	447	608	349	657	114	0	51	9
21 年度	1,284	571	290	348	80	564	362	564	384	689	112	0	316	199
22 年度	1,234	541	297	338	62	531	341	493	309	646	139	12	285	108
23 年度	1,444	708	387	437	95	649	556	652	396	720	116	19	327	68
女	受診者数	摂取エネルギーの過剰				血管を傷つける				内臓脂肪 症候群以 外の動脈 硬化要因	臓器障害 (※は詳細検査)			
		腹囲 *	中性脂肪	ALT (GTP)	HDL コレス テロール	血糖	HbA1c	収縮期血圧	拡張期血圧		LDL コレス テロール	尿蛋白	(クレアチ ニン)	心電図 ※
20 年度	1,879	334	201	263	41	541	673	702	322	1,137	81	0	75	4
21 年度	1,883	366	165	205	28	450	406	597	276	1,183	60	0	353	226
22 年度	1,878	305	206	192	26	429	454	568	254	1,123	88	3	303	235
23 年度	2,168	381	250	265	31	528	704	781	332	1,267	74	4	343	195

*注) 腹囲がない場合は BMI ≥ 25

(市健康推進課調べ)

1 0 特定健康診査有所見の出現率状況

区分	男				女				
	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳	
20年度	1位	LDLコレステロール 57.20%	LDLコレステロール 53.40%	LDLコレステロール 53.20%	収縮期血圧 62.90%	LDLコレステロール 34.80%	LDLコレステロール 59.80%	LDLコレステロール 64.40%	LDLコレステロール 63.30%
	2位	腹囲 43.40%	血糖値 48.00%	収縮期血圧 52.60%	血糖値 54.80%	HbA1c 14.50%	眼底 33.30%	収縮期血圧 42.60%	収縮期血圧 50.80%
	3位	ALT(GPT) 38.20%	腹囲 46.60%	血糖値 51.70%	LDLコレステロール 47.00%	収縮期血圧 13.00%	HbA1c 29.30%	HbA1c 39.10%	眼底 50.00%
	4位	中性脂肪 33.60%	収縮期血圧 37.00%	腹囲 42.30%	腹囲 44.50%	拡張期血圧 12.40%	収縮期血圧 24.60%	眼底 33.30%	HbA1c 46.30%
	5位	BMI 31.60%	ALT(GPT) 33.80%	HbA1c 37.80%	HbA1c 44.40%	BMI 11.80%	血糖値 23.50%	血糖値 32.80%	血糖値 34.30%
21年度	1位	LDLコレステロール 61.30%	LDLコレステロール 52.60%	LDLコレステロール 56.40%	収縮期血圧 54.80%	LDLコレステロール 39.60%	LDLコレステロール 65.00%	LDLコレステロール 66.60%	LDLコレステロール 61.40%
	2位	腹囲 45.80%	腹囲 44.30%	血糖値 47.70%	血糖値 52.80%	BMI 18.90%	収縮期血圧 21.70%	収縮期血圧 35.90%	収縮期血圧 41.90%
	3位	ALT(GPT) 40.00%	血糖値 36.60%	収縮期血圧 47.10%	LDLコレステロール 45.80%	収縮期血圧 12.20%	BMI 20.00%	BMI 26.70%	血糖値 30.70%
	4位	BMI 35.50%	収縮期血圧 35.50%	腹囲 46.00%	眼底 41.50%	心電図 12.20%	血糖値 20.00%	血糖値 25.50%	BMI 30.60%
	5位	中性脂肪 34.80%	拡張期血圧 34.10%	BMI 30.90%	腹囲 41.10%	腹囲 11.70%	拡張期血圧 17.00%	HbA1c 24.40%	HbA1c 28.60%
22年度	1位	LDLコレステロール 53.80%	LDLコレステロール 56.60%	LDLコレステロール 53.50%	収縮期血圧 51.20%	LDLコレステロール 41.10%	LDLコレステロール 62.70%	LDLコレステロール 63.70%	LDLコレステロール 55.50%
	2位	腹囲 46.90%	腹囲 46.50%	血糖値 46.30%	血糖値 46.10%	BMI 17.80%	収縮期血圧 22.90%	収縮期血圧 33.20%	収縮期血圧 40.20%
	3位	ALT(GPT) 37.50%	血糖値 42.60%	腹囲 44.00%	LDLコレステロール 45.70%	拡張期血圧 10.40%	BMI 20.10%	BMI 25.50%	HbA1c 33.40%
	4位	中性脂肪 37.50%	BMI 36.70%	収縮期血圧 42.70%	腹囲 39.60%	中性脂肪 9.20%	HbA1c 20.00%	HbA1c 25.50%	眼底 32.80%
	5位	BMI 33.80%	ALT(GPT) 33.60%	HbA1c 31.40%	HbA1c 33.40%	収縮期血圧 9.20%	血糖値 19.40%	血糖値 24.20%	血糖値 29.90%
23年度	1位	LDLコレステロール 53.50%	LDLコレステロール 56.10%	血糖値 51.70%	収縮期血圧 54.50%	LDLコレステロール 38.20%	LDLコレステロール 64.60%	LDLコレステロール 59.90%	LDLコレステロール 57.40%
	2位	腹囲 50.70%	腹囲 52.70%	LDLコレステロール 51.70%	血糖値 45.70%	BMI 19.40%	収縮期血圧 27.90%	収縮期血圧 39.30%	収縮期血圧 45.20%
	3位	ALT(GPT) 40.80%	収縮期血圧 40.50%	腹囲 49.50%	腹囲 44.30%	HbA1c 15.30%	HbA1c 26.70%	HbA1c 36.20%	HbA1c 37.60%
	4位	BMI 33.10%	血糖値 38.60%	収縮期血圧 47.10%	LDLコレステロール 39.80%	収縮期血圧 15.20%	BMI 20.60%	血糖値 28.40%	血糖値 31.60%
	5位	中性脂肪 28.20%	BMI 38.20%	HbA1c 44.60%	HbA1c 39.20%	腹囲 11.00%	拡張期血圧 16.50%	BMI 24.50%	眼底 30.30%

(市健康推進課調べ)

1 1 特定保健指導実施状況

年度	動機付け支援					積極的支援					合計				
	対象者数	実施者数	実施率	終了者数	終了率	対象者数	実施者数	実施率	終了者数	終了率	対象者数	実施者数	実施率	終了者数	終了率
20年度	304	83	27.3	82	27.0	146	25	17.1	20	13.7	450	108	24.0	102	22.7
21年度	287	151	52.6	147	51.2	147	37	25.2	24	16.3	434	188	43.3	171	39.4
22年度	262	140	53.4	138	52.7	130	43	33.1	28	21.5	392	183	46.7	166	42.3
23年度	333	167	50.2	166	49.8	166	46	27.7	35	21.1	499	213	42.7	201	40.3

(H20～23年度法定報告)

1 2 特定保健指導実施率（年次・性・年齢階級別）

年度	市全体	性別	区分	40～74							
				40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	
21年度	43.3	男	対象者数	283	29	26	27	41	51	60	49
			実施者数	107	5	7	4	9	19	36	27
			実施率	37.8	17.2	26.9	14.8	22.0	37.3	60.0	55.1
		女	対象者数	151	10	6	8	24	33	37	33
			実施者数	81	0	3	3	11	23	19	22
			実施率	53.6	0.0	50.0	37.5	45.8	69.7	51.4	66.7
22年度	46.7	男	対象者数	249	24	29	24	39	40	50	43
			実施者数	108	8	10	9	14	12	30	25
			実施率	43.4	33.3	34.5	37.5	35.9	30.0	60.0	58.1
		女	対象者数	143	9	5	13	24	35	29	28
			実施者数	75	6	2	5	8	19	17	18
			実施率	52.4	66.7	40.0	38.5	33.3	54.3	58.6	64.3
23年度	42.7	男	対象者数	323	19	25	38	42	83	50	66
			実施者数	124	5	4	10	15	27	29	34
			実施率	38.4	26.3	16.0	26.3	35.7	32.5	58.0	51.5
		女	対象者数	176	6	7	13	28	42	43	37
			実施者数	89	2	1	5	12	22	25	22
			実施率	50.6	33.3	14.3	38.5	42.9	52.4	58.1	59.5

(H20～23年度法定報告)

1 3 特定保健指導実施者の体重変化率<3-(7)>

全 体	20年度				21年度				22年度			
	初回人数	初回値	評価人数	評価値	初回人数	初回値	評価人数	評価値	初回人数	初回値	評価人数	評価値
動機付け支援	84	5,705.6	84	5,631.2	142	9,611.8	142	9,487.7	104	6,988.2	104	6,876.9
積極的支援	18	1,288.6	18	1,265.7	25	1,827.6	25	1,818.6	28	2,027.2	28	2,002.8
合計値	102	6,994.2	102	6,896.9	167	11,437.4	167	11,306.3	132	9,015.4	132	8,879.7
平均値		68.6		67.6		68.5		67.7		68.3		67.3
評価体重-初回体重	-1.0				-0.8				-1.0			
体重減少率(%)	-1.5				-1.2				-1.5			

男 性	20年度				21年度				22年度			
	初回人数	初回値	評価人数	評価値	初回人数	初回値	評価人数	評価値	初回人数	初回値	評価人数	評価値
動機付け支援	48	3,493.6	48	3,451.2	76.0	5,564.5	76	5,442.6	52	3,640.7	52	3,585.5
積極的支援	9	703.7	9	694.2	16.0	1,219.0	16	1,209.3	22	1,606.2	22	1,587.0
合計値	57	4,197.3	57	4,145.4	92.0	6,783.5	92	6,651.9	74	5,246.9	74	5,172.5
平均値		73.6		72.7		73.7		72.3		70.9		69.9
評価体重-初回体重	-0.9				-1.4				-1.0			
体重減少率(%)	-1.2				-1.9				-1.4			

女 性	20年度				21年度				22年度			
	初回人数	初回値	評価人数	評価値	初回人数	初回値	評価人数	評価値	初回人数	初回値	評価人数	評価値
動機付け支援	36	2,212.0	36	2,180.0	66	4,106.4	66	4,045.1	52	3,347.5	52	3,291.4
積極的支援	9	584.9	9	571.5	9	607.6	9	609.3	6	421.0	6	415.8
合計値	45	2,796.9	45	2,751.5	75	4,714.0	75	4,654.4	58	3,768.5	58	3,707.2
平均値		62.2		61.1		62.9		62.1		65.0		63.9
評価体重-初回体重	-1.1				-0.8				-1.1			
体重減少率(%)	-1.8				-1.3				-1.7			

(市健康推進課調べ)

1 4 特定保健指導実施者の腹囲変化率<3-(8)>

全 体	20 年度				21 年度				22 年度			
	初回人数	初回値	評価人数	評価値	初回人数	初回値	評価人数	評価値	初回人数	初回値	評価人数	評価値
動機付け支援	84	7,835.3	84	7,699	142	13,080	142	12,842	104	9,374	104	9,280
積極的支援	18	1,288.6	18	1,266	25	2,371	25	2,334	28	2,578	28	2,549
合計値	102	9,123.9	102	8,965	167	15,451	167	15,177	132	11,952	132	11,829
平均値		89.5		87.9		92.5		90.9		90.5		89.6
評価腹囲-初回腹囲	-1.6				-1.6				-0.9			
腹囲減少率 (%)	-1.8				-1.7				-1.0			

男 性	20 年度				21 年度				22 年度			
	初回人数	初回値	評価人数	評価値	初回人数	初回値	評価人数	評価値	初回人数	初回値	評価人数	評価値
動機付け支援	48	4,479.7	48	4,410.1	76	6,967.9	76	6,854.4	52	4,617.0	52	4,587.5
積極的支援	9	842.3	9	836.2	16	1,487.6	16	1,468.8	22	2,005.0	22	1,981.5
合計値	57	5,322.0	57	5,246.3	92	8,455.5	92	8,323.2	74	6,622.0	74	6,569.0
平均値		93.4		92.0		91.9		90.5		89.5		88.8
評価腹囲-初回腹囲	-1.4				-1.4				-0.7			
腹囲減少率 (%)	-1.5				-1.5				-0.8			

女 性	20 年度				21 年度				22 年度			
	初回人数	初回値	評価人数	評価値	初回人数	初回値	評価人数	評価値	初回人数	初回値	評価人数	評価値
動機付け支援	36	3,355.6	36	3,289.2	66	6,119.9	66	5,988.0	52	4,757.2	52	4,692.3
積極的支援	9	841.5	9	796.1	9	883.7	9	865.5	6	572.7	6	567.7
合計値	45	4,197.1	45	4,085.3	75	7,003.6	75	6,853.5	58	5,329.9	58	5,260.0
平均値		93.3		90.8		93.4		91.4		91.9		90.7
評価腹囲-初回腹囲	-2.5				-2.0				-1.2			
腹囲減少率 (%)	-2.7				-2.1				-1.3			

(市健康推進課調べ)

※1 3. 1 4 の初回・評価数は体重・腹囲いずれも初回・評価の値がそろっている方を有効数として算出

1 5 特定保健指導実施者の健診結果改善率<3-(9)>

区 分	有効データ人数	21 年度評価時体重	健診時体重	腹 囲	収縮期血圧	拡張期血圧	中性脂肪	HDL	血糖値	HbA1c
		21 年度評価時体重	21-22 体重変化率	21-22 腹囲変化率	21-22 収縮期血圧変化率	21-22 拡張期血圧変化率	21-22 中性脂肪変化率	21-22HDL 変化率	21-22 血糖値変化率	21-22HbA1c 変化率
指導なし	2,943 人	-0.1%	-0.2%	0.1%	0.4%	-0.4%	11.2%	0.6%	0.1%	0.8%
21 年度指導あり	164 人	-0.7%	-1.6%	-1.5%	-2.2%	-4.4%	1.9%	2.0%	-1.8%	0.2%
20-21 年度連続指導あり	29 人	0.5%	-0.5%	-0.5%	-0.3%	-6.0%	-0.9%	4.0%	-2.0%	1.4%

(市健康推進課調べ)

1 6 年度別・年齢別内臓脂肪症候群予備群の状況

年度	区 分	40-44 歳	45-49 歳	50-54 歳	55-59 歳	60-64 歳	65-69 歳	70-74 歳	計	全国市町村国保
21 年度	特定健診受診者数	136	171	274	444	593	809	684	3,111	
	該当者数	24	13	35	49	65	117	122	425	
	該当者率	17.6	7.6	12.8	11.0	11.0	14.5	17.8	13.7	11.4
22 年度	特定健診受診者数	135	177	256	416	666	722	686	3,058	
	該当者数	17	26	24	38	64	90	104	363	
	該当者率	12.6	14.7	9.4	9.1	9.6	12.5	15.2	11.9	10.8
23 年度	特定健診受診者数	147	172	284	469	827	813	844	3,556	
	該当者数	17	17	32	52	96	105	130	449	
	該当者率	11.6	9.9	11.3	11.1	11.6	12.9	15.4	12.6	

(H21~23 年度法定報告)

全国市町村国保：平成 21・22 年度 特定健康診査・特定保健指導の実施状況 (確報値)

17 年度別・年齢別内臓脂肪症候群該当者の状況

年度	区分	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	計	全国市町村国保
21年度	特定健診受診者数	136	171	274	444	593	809	684	3,111	
	該当者数	9	13	21	31	81	82	83	320	
	該当者率	6.6	7.6	7.7	7.0	13.7	10.1	12.1	10.3	16.0
22年度	特定健診受診者数	135	177	256	416	666	722	686	3,058	
	該当者数	13	12	20	45	80	71	73	314	
	該当者率	9.6	6.8	7.8	10.8	12.0	9.8	10.6	10.3	16.3
23年度	特定健診受診者数	147	172	284	469	827	813	844	3,556	
	該当者数	11	14	35	75	110	115	120	480	
	該当者率	7.5	8.1	12.3	16.0	13.3	14.1	14.2	13.5	

(市健康推進課調べ)

全国市町村国保：平成21・22年度 特定健康診査・特定保健指導の実施状況（確報値）

18 特定保健指導初回面接実施者の地区別状況（集団健診分）

区分		五所川原	金木	市浦	全体	
動機付け支援	22年度	対象者	195	50	27	272
		実施者数	109	19	14	142
		実施率	55.9	38.0	48.4	52.2
	23年度	対象者	209	50	34	293
		実施者数	117	22	14	153
		実施率	56.0	44.0	41.2	52.4
積極的支援	22年度	対象者	80	20	28	128
		実施者数	35	4	5	44
		実施率	43.8	20.0	17.9	34.4
	23年度	対象者	97	16	18	131
		実施者数	37	3	4	44
		実施率	38.1	18.8	22.2	33.6

(市健康推進課調べ)

(脱落者・国保資格喪失者・75歳含む)

19 特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率（前年度対象者に対する割合）

	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	合計
21年度	0.0	0.0	33.3	28.6	25.9	25.0	13.8	21.4
22年度	25.0	30.0	14.3	38.5	32.5	22.2	10.4	22.7
23年度	16.7	20.0	14.3	4.5	21.7	24.4	17.8	18.1

(H20～23年度法定報告)

20 特定健康診査等の対象者の状況〈4-(1)〉

区分	男	女	計
0～4歳	254	301	555
5～9歳	351	343	694
10～14歳	487	471	958
15～19歳	506	491	997
20～24歳	432	395	827
25～29歳	475	389	864
30～34歳	561	445	1,006
35～39歳	658	545	1,203
40～44歳	647	657	1,304
45～49歳	761	694	1,455
50～54歳	921	917	1,838
55～59歳	1,180	1,271	2,451
60～64歳	1,684	1,831	3,515
65～69歳	1,226	1,574	2,800
70～74歳	1,268	1,699	2,967
合計	11,411	12,023	23,434

(市国保年金課調べ)

21 診療費諸率の状況〈4-(2)〉

区分	青森県	五所川原市
入院一人当たり診療費	100%	86.3%
入院受診率	100%	85.1%
入院1件当たり点数	100%	101.4%
入院1件当たり日数	100%	100.6%
入院外一人当たり診療費	100%	90.6%
入院外受診率	100%	91.5%
入院外1件当たり点数	100%	99.0%
入院外1件当たり日数	100%	94.4%

(平成24年5月疾病分類データ)

2 2 年齢階層別、男女別千人当たり受診件数の状況〈4-(3)〉

区分	9歳未満	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳
男	866	327	228	330	391	548	827	1,226
女	700	369	443	500	459	655	990	1,398

(平成24年5月疾病分類データ)

2 0 年齢階層別、男女別1人当たり診療費の状況〈4-(4)〉

区分	9歳未満	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳
男	11,216	4,746	2,949	7,223	14,588	20,065	23,227	35,682
女	7,750	1,901	9,514	7,649	9,988	9,383	18,334	21,199

(平成24年5月疾病分類データ)

2 1 疾病分類別受診件数〈4-(5)〉

区分	9歳未満	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳
新生物	5	5	8	21	49	100	222	134
内分泌、栄養及び代謝疾患	1	5	25	32	101	286	687	408
精神及び行動の障害	11	21	54	97	126	137	164	88
循環器系の疾患	1	4	5	34	146	615	1,691	1,087
呼吸器系の疾患	540	222	89	155	87	150	265	130
消化器系の疾患	128	97	130	205	279	444	878	563
筋骨格系及び結合組織の疾患	7	27	19	48	85	268	625	554

(平成24年5月疾病分類データ)

2 2 疾患分類別診療費〈4-(6)〉

区分	9歳未満	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳
新生物	1,268,690	645,060	63,160	1,113,560	2,484,410	12,023,560	31,565,120	16,132,850
内分泌、栄養及び代謝疾患	8,680	14,640	778,410	423,220	1,193,070	6,066,150	12,236,670	6,949,120
精神及び行動の障害	129,460	345,840	1,898,290	4,780,730	3,941,830	8,498,700	8,874,100	1,263,300
循環器系の疾患	4,000	36,100	80,040	1,094,940	3,890,730	12,226,920	26,325,480	27,170,420
呼吸器系の疾患	4,123,050	1,649,040	511,700	1,094,640	731,650	2,294,640	4,062,240	1,424,050
消化器系の疾患	1,171,120	2,010,730	1,834,080	3,200,800	5,885,210	8,357,300	20,283,440	13,135,800
筋骨格系及び結合組織の疾患	59,380	264,590	232,970	1,297,140	2,520,020	2,294,640	13,071,450	10,761,220

(平成24年5月疾病分類データ)

2 3 循環器系の主な疾病の1件当たり診療費の状況(男)〈4-(7)〉

区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
高血圧性疾患	9,014	8,122	9,071	10,259	12,842	10,968	11,629
虚血性心疾患	4,000	10,257	21,552	5,924	13,940	51,701	45,057
その他の心疾患	19,845	13,900	69,551	70,564	20,476	14,087	12,616
くも膜下疾患	0	700	0	119,110	106,813	0	0
脳内出血	0	440,413	322,993	4,110	21,066	0	22,890
脳梗塞	21,457	24,200	22,700	13,574	48,006	32,551	112,485

(平成24年5月疾病分類データ)

2 4 循環器系の主な疾病の1件当たり診療費の状況(女)〈4-(7)〉

区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
高血圧性疾患	7,238	26,567	9,055	9,046	11,778	11,313	12,512
虚血性心疾患	10,860	0	21,420	6,191	16,241	11,776	26,018
その他の心疾患	1,890	0	18,040	249,985	23,550	16,804	17,955
くも膜下疾患	0	2,840	1,380	161,377	1,910	18,817	775,347
脳内出血	52,140	38,170	0	8,540	19,480	0	284,088
脳梗塞	0	9,020	163,912	3,771	63,906	87,834	34,197

(平成24年5月疾病分類データ)

五所川原市第2期健康診査等実施計画

発行：五所川原市

住所：〒037-8686 五所川原市字岩木町12番地

編集：民生部 国保年金課

電話 0173-35-2111 内線 2334

民生部 健康推進課

電話 0173-35-2111 内線 2362